

「会 告」

第61回全国水道研究発表会日程

期 日 平成22年5月19日（水）、20日（木）、21日（金）

会 場 朱鷺メッセ

新潟市中央区万代島6-1 電話（025）246-8400

[開催期間中の開催地臨時電話（025）255-0876 FAX（025）255-0877]

[開催期間中の日水協臨時電話（025）255-0878 FAX（025）255-0879]

日 程

初 日 平成22年5月19日（水）

1. 開 会 式

朱鷺メッセ 1階 ウエーブマーケットA 9時30分～9時50分

2. 水道フォーラム

朱鷺メッセ 1階 ウエーブマーケットA 10時00分～12時00分

3. 研 究 発 表

朱鷺メッセ

第1会場 4階 マリンホール 13時00分～

第2会場 3階 中会議室302 13時00分～

第3会場 3階 中会議室301 13時00分～

第4会場 2階 スノーホールA 13時00分～

第5会場 2階 スノーホールB 13時00分～

第6会場 2階 中会議室201 13時00分～

第7会場 2階 小会議室203～204 13時00分～

4. 懇親会

ホテル日航新潟 4階 朱鷺

2日目 平成22年5月20日（木）

1. 研 究 発 表 第1～7会場 9時00分～

3日目 平成22年5月21日（金）

1. 研 究 発 表 第1～6会場 9時00分～

[水道フォーラム]

日 時 初日 平成22年5月19日（水） 10時～12時

会 場 朱鷺メッセ 1階 ウエーブマーケットA

題 名 「地震に強い水道の実現—水道耐震化を加速させるために—」

座 長 首都大学東京大学院都市環境科学研究科教授 小泉 明

講 師 東京都水道局総務部副参事（経営改革推進担当） 市村 敬正

新潟市水道局技術部長 大沼 博幹

呉市水道局技術部副部長 福本 明紀

日本上下水道設計(株) 大嶽 公康

(社)全国上下水道コンサルタント協会)

第1会場

事務部門（地域水道ビジョン）		
13:00～13:45（計3題）		
1-1	住民参加による地域水道ビジョン策定に関する一考察 矢巾町上下水道課	吉岡 律司
1-2	水道事業の再構築と市民合意形成 石狩市建設水道部	蛭谷 学俊
1-3	紫波町地域水道ビジョンを活用した広域化の推進 —水道ビジョン検討委員会による信頼性の付与と広域化への意識醸成— 浜銀総合研究所	佐藤 裕弥
事務部門（PFI・第三者委託）		
13:50～14:35（計3題）		
1-4	PFI方式による排水処理施設設備更新等事業 千葉県水道局	長谷川 勝久
1-5	石狩市における第三者委託業務評価 石狩市建設水道部	清野 馨
1-6	水道事業のモニタリングと第三者評価 —快適な暮らしを支える水道事業の Four As「安全・安心・安定・安価」の挑戦— 紫波町水道事業所	松岡 好和
事務部門（広報広聴）		
14:40～15:25（計3題）		
1-7	コールセンター携帯電話ウェブサイトアクセス用 QR コードの各種媒体への掲載 静岡市上下水道局	杉山 裕倫
1-8	「お客さまの声分析調査」の実施 エス・エフ・シー	藤田 正道
1-9	お客さまの声を改善に活かす取り組み 横浜水道局	阿部 康裕
事務部門（財政運営・財源確保）		
15:30～16:15（計3題）		
1-10	浄水場の大規模更新と財政運営 東京都水道局	小黒 健太郎
1-11	不動産の長期貸付をはじめとする、水道局資産の有効活用 横浜水道局	岸 士郎
1-12	公営企業における借入資本金制度の見直しによる財務諸表への影響試算 東京都水道局	萩原 健一

第2会場

計画部門（施設整備(1)）		
13:00～14:00（計4題）		
2-1	地域水道ビジョンの策定に向けた取り組み —「水道・工業用水道ビジョンあまがさき」の策定— 尼崎市水道局	中島 清次
2-2	地域水道ビジョン策定におけるワークショップの適用 日水コン	澤 深太郎
2-3	水安全計画から包括的品質保証プログラムへの展開 —阪神水道品質保証プログラムの構築— 阪神水道企業団	花元 隆司
2-4	相模原浄水場水安全計画実施状況 神奈川県内広域水道企業団	林 祐貴
計画部門（施設整備(2)）		
14:05～14:50（計3題）		
2-5	基幹配水池の耐震化に向けた配水区域の再編計画 札幌市水道局	工藤 健浩
2-6	広域合併に伴う施設統廃合の事例報告 新潟市水道局	佐藤 誠
2-7	PIを用いた水道事業統合の効果の分析 水道技術研究センター	有村 良一
計画部門（施設整備(3)）		
14:55～15:55（計4題）		
2-8	アセットマネジメントによる施設更新計画策定業務 岡山市水道局	中出 友正
2-9	浄水施設更新におけるアセットマネジメント活用手法の検討 —経年化施設における潜在リスクの可視化— 矢巾町上下水道課	照井 義秀
2-10	福岡地区水道企業団におけるアセットマネジメントへの取組 福岡地区水道企業団	永田 隆行
2-11	アセットマネジメントシステムの構築 日本水工設計	堺 武志
計画部門（施設整備(4)）		
16:00～17:15（計5題）		
2-12	水道管路更新工事における調査の経済性に関する一考察 日水コン	渡辺 晴彦
2-13	水道管路の局部腐食（孔食）に着目した更新優先順位に関する一考察 首都大学東京大学院	馬野 仁史
2-14	新潟市における管路の老朽度評価の取り組み 新潟市水道局	中山 郁夫
2-15	水中カメラによる導水トンネル内面調査の概要 神奈川県内広域水道企業団	林 信宏
2-16	ネットワークカメラを利用した監督業務の充実 —土木編— 横浜水道局	初山 将

第3会場

導・送・配水部門（管路更新(1)）		
13:00～14:00（計4題）		
5-1	水道管路の老朽度予測のための事故率曲線の作成 水道技術研究センター	松下 寛
5-2	配水幹線リフレッシュ工事の耐用年数の考察 名古屋市上下水道局	多和田 雄介
5-3	老朽管（幹線管路）更新のための評価手法 神奈川県企業庁	宮松 直樹
5-4	水道施設機能診断マニュアル（管路編）の開発 —管路の機能診断手法の検討— 水道技術研究センター	天野 幹大
導・送・配水部門（管路更新(2)）		
14:05～15:20（計5題）		
5-5	呼び径400PⅡ形ダクタイル鉄管による長距離バイブ・イン・バイブ工法 津山市水道局	廣瀬 淳史
5-6	急傾斜地かつ屈曲配管された既設管内へのダクタイル鋳鉄管によるバイブ・イン・バイブ（PIP）工法の施工 横須賀市上下水道局	渡邊 紀喜
5-7	経年化した送水トンネルの更新 阪神水道企業団	門脇 正夫
5-8	大口径石綿セメント管の更新工事におけるバイブ・イン・バイブ工法の採用 岡山市水道局	西村 浩二
5-9	水道配水用ポリエチレン管を用いた老朽管の更新 —パット融着接合による PIP 工法の研究— 積水化学工業	小林 一人
導・送・配水部門（管路更新(3)）		
15:25～16:40（計5題）		
5-10	管路の耐震性検討のための地盤の良し悪しの判定方法 日本ダクタイル鉄管協会	森田 真子
5-11	小口径新耐震ダクタイル鉄管の研究（Ⅰ） —直管の構造と性能評価— クボタ	香川 崇哲
5-12	小口径新耐震ダクタイル鉄管の研究（Ⅱ） —異形管の構造と性能評価— クボタ	池田 幸平
5-13	小口径新耐震ダクタイル鉄管の研究（Ⅲ） —切管方法と性能評価— クボタ	金子 正吾
5-14	不断水割T字管耐震Ⅱ型の開発 コスモ工機	佐藤 温志

第 4 会場

浄水部門（粉末活性炭）		
13:00～14:30（計 6 題）		
4-1	大多喜浄水場における前塩素注入によるトリハロメタンの低減	
	南房総広域水道企業団	白井 博臣
4-2	粉末活性炭の種類・粒径等によるかび臭物質の除去率の違い	
	広島県企業局	村上 智彦
4-3	粉末活性炭の効率的な注入率の決定	
	横浜市水道局	横川 宜弘
4-4	微粉化活性炭によるウイルス吸着除去	
	北海道大学大学院	鈴木 英明
4-5	活性炭の微粒化に伴う NOM 吸着容量増加メカニズムの解明：粒子断面の直接観察	
	北海道大学大学院	安藤 直哉
4-6	粉末活性炭の微粒化による NOM 吸着容量増加のメカニズムとモデル化	
	北海道大学大学院	吉田 智明

浄水部門（粒状活性炭・オゾン処理）		
14:35～15:50（計 5 題）		
4-7	溶存酸素が生物活性炭吸着性能に及ぼす影響評価	
	新潟市水道局	稲田 秀明
4-8	粒状活性炭物性の経年変化	
	沖縄県企業局	新垣 和一
4-9	ヤシ殻を原料とした新たな高度浄水処理用活性炭	
	荏原エンジニアリングサービス	佐藤 克昭
4-10	沈澱水を用いた促進酸化処理に関する検討（Ⅲ） —パイロットスケール連続実験による評価—	
	阪神水道企業団	本山 りえ
4-11	臭素酸イオン生成抑制および臭気物質の除去を目的としたオゾン／過酸化水素処理の操作条件	
	京都大学大学院	水野 忠雄

浄水部門（その他）		
15:55～17:10（計 5 題）		
4-12	沈澱池への遮光ネット設置によるかび臭生成物の抑制対策	
	福山市水道局	唐下 正典
4-13	膜分離方式の消石灰溶液注入システム	
	水道機工	野村 実
4-14	浄水発生の農業利用に関する検討及び販売に向けての活動報告	
	岡山市水道局	青江 洋典
4-15	木津浄水場増補改築工事	
	奈良市水道局	新中 友樹
4-16	金町浄水場高度浄水施設（三期）整備事業	
	東京都水道局	永田 亮

第 5 会場

浄水部門（膜ろ過(1)）		
13:00～14:15（計 5 題）		
4-50	大阪市水道局と阪神水道企業団における浄水技術の共同研究	
	阪神水道企業団	津田 巖
4-51	マンガン除去を組み合わせた高回収型膜ろ過施設の運転状況	
	水道機工	中東 賢司
4-52	繊維ろ過と MF 膜ろ過の組み合わせによる浄水処理システム	
	明電舎	宮本 新也
4-53	高塩基度ポリ塩化アルミニウム適用によるセラ膜ろ過性能の向上	
	メタウォーター	加藤 絵美
4-54	表流水の膜処理における凝集剤添加と温水洗浄の効果	
	東芝	松代 武士

浄水部門（膜ろ過(2)）		
14:20～15:35（計 5 題）		
4-55	浄水処理におけるファウリングポテンシャルの提案とその特性評価（Ⅲ） —膜の前処理としての凝集に関する一考察—	
	荏原エンジニアリングサービス	貝谷 吉英
4-56	PVDF 濾過中空糸膜の構造と物性の関係（Ⅱ）	
	旭化成ケミカルズ	藤村 宏和
4-57	有機成分共存下におけるナノろ過による微量化学物質の除去特性	
	八戸工業大学	鈴木 拓也
4-58	膜ろ過物理洗浄排水回収への浸漬型膜ろ過の適用	
	東レ	新谷 昌之
4-59	浸漬膜による洗浄排水回収・濃縮システムの開発	
	水道機工	青井 健太郎

浄水部門（浄水システム）		
15:40～16:40（計 4 題）		
4-60	パイロットプラントにおける濁度急変による浄水処理への影響に関する実験的検討	
	国立保健医療科学院	古林 祐正
4-61	浄水場におけるクリプトスポリジウム等の対策	
	京都市上下水道局	中嶋 紀彰
4-62	微小プランクトン等による浄水処理障害の自動監視システムに関する研究（Ⅰ） —自動監視装置の概要と操作条件—	
	磯村豊水機工	森垣 紀子
4-63	微小プランクトン等による浄水処理障害の自動監視システムに関する研究（Ⅱ） —自動監視装置の応答解析—	
	君津広域水道企業団	齊藤 弘

第 6 会場

水質部門（調査(1)・かび臭）		
13:00～14:00（計 4 題）		
8-1	連続かび臭分析装置の運用とその成果	
	神奈川県企業庁	野澤 泰
8-2	germacreneD 遺伝子を用いた geosmin 産生放線菌の特定手法の提案	
	東北学院大学大学院	太田 康裕
8-3	入鹿池における放線菌（Ⅰ）	
	愛知県企業庁	野本 美保
8-4	入鹿池における放線菌（Ⅱ）	
	愛知県企業庁	酒井 康男

水質部門（調査(2)・農業）		
14:05～15:05（計 4 題）		
8-5	木曽川における MBC の検出状況と浄水処理性	
	名古屋市上下水道局	長谷川 哲也
8-6	新潟市の検出農業と処理性に関する研究	
	新潟市水道局	高橋 英司
8-7	モデルシミュレーションを用いた感度解析に基づく農業スコア表	
	北海道大学大学院	岩尾 憲祐
8-8	第一群農業の検出実態と今後の監視農業	
	関東学院大学	鎌田 素之

水質部門（調査(3)・消毒副生成物）		
15:10～16:10（計 4 題）		
8-9	消毒副生成物の挙動に関する調査	
	京都市上下水道局	細田 耕
8-10	配水池におけるエアレーションを用いたカビ臭およびトリハロメタン除去対策の有効性に関する基礎研究（Ⅱ）	
	沖縄県環境科学センター	伊波 秀敏
8-11	京都市における消毒副生成物の実態調査	
	京都市上下水道局	松岡 英彰
8-12	残留塩素濃度を低減した水道システムにおける要求水質に関する研究	
	京都大学大学院	大河内 由美子

第 7 会場

英語部門（事務・計画）		
13:00～14:15（計 5 題）		
10-1	Contribution of Japan's Technical Cooperation and Situation of Training System in Lao PDR これまでの日本の技術協力とラオスの水道研修の課題	
	ラオス国首都ビエンチャン水道局	Khampheuy VONGSAKHAMPHOUI
10-2	Condition of Water Technology of Regional Waterworks in Lao PDR and Strategy of Training Course ラオス地方水道の現状と研修戦略	
	ラオス国公共事業省都市計画局	Khanthone VORACHITH
10-3	The Situation of International Activites by Waterworks Utilities and Challenges to us 水道事業体における国際関連施策のあり方と課題	
	東京都水道局	高橋 奈緒美
10-4	Planning of Treated Effluent Distribution System for Muscat, Oman オマーン国における下水処理水配水計画	
	日本上下水道設計	鬼木 哲
10-5	A Statistical Analysis on the Domestic Water Usage 家庭用水の使用量に関する統計分析	
	The University of Seoul	Nam-Cheol Seo

英語部門（浄水・水質）		
14:20～15:05（計 3 題）		
10-6	Evaluation of geosmin and 2-methylisoborneol contained in the sediment in sand settling basins at the Taki water treatment plant 多気浄水場の沈砂池の底泥に含まれるジオスミン及び 2-メチルイソボルネオールの評価	
	三重県企業庁	岩崎 誠二
10-7	Control of Chlorinous Odor in Drinking Water using Ozonation and Advanced Oxidation Process (O ₃ /H ₂ O ₂ Process) with an Ozone Column Reactor 浄水処理過程におけるオゾン接触筒を用いたオゾン処理および促進酸化処理（オゾン／過酸化水素処理）によるカルキ臭の制御	
	京都大学大学院	Songkeart Phattarapatta mawong
10-8	Evaluation and enrichment of biological activity of carboxylic acids removal by biological activated carbon in continuous column reactors 連続式カラムリアクターを用いた生物活性炭のカルボン酸生分解特性の評価	
	東京大学大学院	Soonglerdsongpha Suwat

英語部門（管路・水質）		
15:10～16:10（計 4 題）		
10-9	Study on comparison between HDSM and DDSM for water distribution system analysis 配水管網解析時の HDSM と DDSM の比較研究	
	The University of Seoul	Min-Cheol Kim
10-10	Applicability Assessment of Water Distribution System Technological Diagnosis 上水道の管網技術診断に関する適用性の評価	
	The University of Seoul	Tae-Ho Choi
10-11	Solid Phase Extraction-LC-MS/MS Method for Determining Pharmaceuticals and Personal Care Products (PPCPs) and Their Removal in Drinking Water Treatment Process LC-MS/MS による医薬品類の一斉分析における固相抽出法の改良及び浄水処理過程での実態	
	大阪市水道局	鶴田 朋子
10-12	System of water-quality test in ISO/IEC17025 ISO/IEC17025における水質検査体制	
	横浜市水道局	古谷 智仁

研究発表の日程　— 5月20日(木)午前—

第1会場

事務部門（人材育成）		
9:00～9:45（計3題）		
1-13	岡山市水道局における職員研修	
	岡山市水道局	中山 伸一
1-14	「職員研修」・「人事制度」・「職場環境」の3つのアプローチによる人材育成	
	京都市上下水道局	平井 太郎
1-15	発展途上国における人材育成の現状と課題	
	メタウォーター	稲森 雄彦

事務部門（営業業務）		
9:50～10:50（計4題）		
1-16	個別需給給水契約（大口使用者特割）制度の導入	
	北九州市水道局	木村 直樹
1-17	導水管漏水事故に係る水道料金等の対応	
	八戸圏域水道企業団	天間 隆之
1-18	米軍基地内の火災事故に伴う水道料金の請求 —料金徴収と負担の可否—	
	東京都水道局	丸山 晃一
1-19	検針区域の再編による検針・調定業務の効率化	
	新潟市水道局	本間 徳雄

事務部門（その他）		
10:55～11:40（計3題）		
1-20	基幹系ネットワーク情報セキュリティ向上への取組	
	千葉県水道局	永井 政之
1-21	都立高校と連携した応急給水訓練 —「奉仕」の授業を活用して—	
	東京都水道局	竹中 智輝
1-22	社会福祉就労支援事業「水道メーター再資源化分類業務」	
	さいたま市水道局	北川 翔一郎

第2会場

計画部門（環境対策(1)）		
9:00～10:15（計5題）		
2-17	首都圏における低炭素化を目標とした水循環システムの検討（Ⅰ） —総括—	
	日本水道工業団体連合会	坂本 弘道
2-18	首都圏における低炭素化を目標とした水循環システムの検討（Ⅱ） —取水地点の上流化によるエネルギー削減効果—	
	東京設計事務所	百々 生勢
2-19	首都圏における低炭素化を目標とした水循環システムの検討（Ⅲ） —取水地点の上流への変更に伴う浄水処理方式の選定とエネルギー削減効果—	
	日本水道工業団体連合会	神田 明広
2-20	首都圏における低炭素化を目標とした水循環システムの検討（Ⅳ） —水道以外の水資源利用によるエネルギー削減効果の試算—	
	日本上下水道設計	山口 岳夫
2-21	首都圏における低炭素化を目標とした水循環システムの検討（Ⅴ） —水輸送エネルギーシミュレーションモデルの構築—	
	パシフィックコンサルタンツ	神岡 誠司

計画部門（環境対策(2)）		
10:20～11:50（計6題）		
2-22	水道システムにおける環境負荷の低減に向けての実態調査	
	日本水道協会	渡辺 正仁
2-23	水道事業体規模を考慮した電力使用効率の判別分析	
	首都大学東京大学院	稲貝 とよの
2-24	電力消費量の削減に向けた水道事業体の統計分析に関する一考察	
	日水コン	榊原 康之
2-25	水供給システムにおけるエネルギー最小化と水質向上に関する一考察	
	首都大学東京大学院	末廣 美希
2-26	水道システムにおける給配水エネルギー効率性の検討	
	首都大学東京大学院	平田 圭吾
2-27	取水から蛇口までのトータル水輸送エネルギー評価手法とその活用	
	横浜市水道局	吉備 隆光

第3会場

導・送・配水部門（管路更新(4)）		
9:00～10:15（計5題）		
5-15	仮配管方式における耐震形特殊T字管を用いた不断水管路更新工法の開発（Ⅱ）	
	さいたま市水道局	金子 亘
5-16	水道配水用ポリエチレン管メカニカル継手の離脱阻止性能に関する一考察	
	配水用ポリエチレンパイプシステム協会	宇佐美 和也
5-17	水道配水用ポリエチレン管の地中構造物貫通部の耐震性（Ⅱ）	
	配水用ポリエチレンパイプシステム協会	木村 雅夫
5-18	良い地盤におけるK形継手の耐震性能に関する研究（Ⅰ）	
	金沢大学	熊木 芳宏
5-19	管路更新支援・震災対策支援システムの構築（Ⅱ）	
	秋田市上下水道局	細川 公一

導・送・配水部門（管路更新(5)）		
10:20～11:20（計4題）		
5-20	ダクタイル鉄管の防食性能向上技術に関する一考察（Ⅲ）	
	クボタ	清水 宏明
5-21	水道用銅管 現場内面塗装における下地処理方法の改善（Ⅱ） —ロータリー式下地処理工具による現場施工方法—	
	日本水道銅管協会	嶋津 寛
5-22	リモートフィールド渦流探傷法によるダクタイル鑄鉄管の老朽度評価手法に関する基礎的研究（Ⅱ）	
	シーエックスアール	河部 俊英
5-23	管路更新のための既設管内調査方法	
	クボタ	高橋 新平

第 4 会場

浄水部門（ろ過）		
9:00～10:15（計 5 題）		
4-17	既設ろ過器へのろ過材洗浄装置設置による環境負荷の低減とフミン質地下水処理への対応	日本原料 山本 隆司
4-18	<i>Synedra acus</i> によるろ過閉塞障害の発生とその対応	福岡県南広域水道企業団 石橋 健二
4-19	シネドラアクスによるろ過閉塞障害	八戸圏域水道企業団 小池 友佳子
4-20	急速ろ過池の新型ろ材の開発	日本原料 齋藤 安弘
4-21	使用済粒状活性炭を用いた複層ろ過方式に関する研究（Ⅰ） —カラム実験装置での運転条件および処理性の調査—	大阪市水道局 早川 生馬
浄水部門（紫外線・その他処理）		
10:20～11:50（計 6 題）		
4-22	表流水を原水とする浄水場への紫外線消毒装置の適用	月島機械 今川 洋介
4-23	紫外線照射試験による副生成物量の評価	水道技術研究センター 原 敬一
4-24	中圧紫外線照射装置の照射性能解析技術	東芝 出 健志
4-25	鉄バクテリア処理における諸特性	扶桑建設工業 一番ヶ瀬 宏之
4-26	河川系原水への帯磁性イオン交換樹脂処理システムの適用	前澤工業 根本 雄一
4-27	塩素を使用しない直接酸化法によるマンガン除去ろ材の開発	日本濾研 大橋 伸夫

第 5 会場

給水装置部門（貯水槽水道・直結給水）		
9:00～10:30（計 6 題）		
6-1	貯水槽水道における水温変化に関する研究—貯水槽水道におけるおいしい水の供給のために—	名古屋市上下水道局 澤田 耕一
6-2	さいたま市における貯水槽水道の取組み	さいたま市水道局 石井 稔
6-3	新潟市における貯水槽水道の清掃率向上に向けた取組み	新潟市水道局 渡辺 勇人
6-4	貯水槽水道点検調査（クリーンアップ！貯水槽）の結果報告	東京都水道局 福永 純平
6-5	4 階建て集合住宅を想定した実験装置及び既存 4 階建て集合住宅における直結直圧式給水の実験	横浜市水道局 八木 賢二
6-6	東京都における直結給水の拡大 —増圧直結給水方式直列多段型の採用—	東京都水道局 大谷 憲康
給水装置部門（メータ・逆流防止）		
10:35～11:50（計 5 題）		
6-7	複式メータボックス一体型ユニットの研究	タブチ 三ツ橋 浩二
6-8	戸建用埋設型メータユニットのメータボックス内保持構造	日邦バルブ 山田 俊光
6-9	新潟市水道局における水道メーターネジの選定	新潟市水道局 原田 誠
6-10	メンテナンスの容易なばね式逆止弁に関する一考察	前澤給装工業 田原 圭吾
6-11	給水装置における逆流防止対策	東京都水道局 露木 博史

第 6 会場

水質部門（調査(4)・残留塩素管理）		
9:00～10:00（計 4 題）		
8-13	福増浄水場系統における残留塩素低減化調査結果	千葉県水道局 渡邊 貴之
8-14	乙金浄水場における残留塩素低減化並びに残塩管理の最適化への取り組み	福岡市水道局 杉山 明子
8-15	給水所での追加塩素注入による給水栓残留塩素低減効果	東京都水道局 市川 博明
8-16	同一水系における浄配水システムの相違による残留塩素消費の動向調査報告	新潟市水道局 高野 雅彰
水質部門（調査(5)・その他－ 1）		
10:05～11:05（計 4 題）		
8-17	アミノ酸の塩素処理によるトリクロラミンの生成能評価	釧路市上下水道部 伊藤 貴史
8-18	トリクロラミンの HS-GC/MS による分析条件と生成特性の検討	大阪市水道局 深瀬 勝己
8-19	二酸化塩素処理を用いた藍藻類の破壊によるカビ臭物質の溶存化	北九州市水道局 奥村 裕司
8-20	モデル化合物のオゾン処理による NDMA の生成特性	国立保健医療科学院 福井 克人
水質部門（調査(6)・その他－ 2）		
11:10～12:10（計 4 題）		
8-21	クロロピクリンの分析方法の検討及び実態調査	さいたま市水道局 伊藤 寛人
8-22	花火大会による湖沼における過塩素酸の拡散・分解	千葉県水道局 山田 義隆
8-23	定量的感染リスク評価の不確実性分析による必要調査項目の提示	京都大学大学院 伊藤 禎彦
8-24	蛍光分析による相模川水道原水の評価	お茶の水女子大学大学院 海賀 信好

第 7 会場

リスク管理・災害対策部門（緊急時対応(1)）		
9:00～10:00（計 4 題）		
9-1	事務職員向け「緊急給水栓」操作マニュアルの作成	横浜市水道局 嶋崎 浩二
9-2	地震災害の被害状況から見る貯水槽水道のポテンシャル向上のための提言	上越環境科学センター 鈴木 和雄
9-3	地震時の人的資源を考慮した応急給水業務評価手法	神戸大学大学院 鉦田 泰子
9-4	スーパー広域災害時における水道事業者の応急復旧対応	京都大学大学院 平山 修久
リスク管理・災害対策部門（緊急時対応(2)）		
10:05～11:05（計 4 題）		
9-5	災害被害想定から考察した他都市応援隊の規模の算定	名古屋市上下水道局 高倉 俊夫
9-6	日本水道協会関西地方支部における災害対策に関する研修	大阪市水道局 大場 久美子
9-7	水道緊急隊の活動報告	東京都水道局 長坂 晋
9-8	市民との連携による地震対策の推進	神戸市水道局 山口 高広

研究発表の日程　— 5 月20日(木)午後—

第 1 会場

導・送・配水部門（漏水防止）		
13:00～13:45（計 3 題）		
5-39	メッシュデータを用いた漏水量の推定モデルに関する一考察	
	首都大学東京大学院	荒井 康裕
5-40	塩素酸を活用した漏水判定	
	広島市水道局	渡辺 直人
5-41	管路に伝播する最小音検知による漏水判定方法の研究	
	フジテコム	三上 貴大

導・送・配水部門（配水調整(1)）		
13:50～14:35（計 3 題）		
5-42	盛岡市における配水監視システムの構築	
	盛岡市水道部	佐々木 勇次
5-43	管網解析による配水ブロック情報管理システム警報機能の検証	
	名古屋市上下水道局	大西 貴
5-44	配水区域の細分化実施	
	千葉県水道局	角井 政則

導・送・配水部門（配水調整(2)）		
14:40～15:25（計 3 題）		
5-45	最小流量と有効率による異常値の分析	
	仙台市水道局	氏家 賢司
5-46	環境負荷評価機能を備えた水運用計画システム	
	日立製作所	今井 美希
5-47	漏水量低減のための水圧制御効果に関する一考察	
	首都大学東京大学院	國實 誉治

導・送・配水部門（配水池）		
15:30～16:30（計 4 題）		
5-48	配水池内蔵のフロート式緊急遮断弁	
	ベルテクノ	高井 明彦
5-49	ステンレス銅製角形配水池の設計手法の提案	
	日本水道鋼管協会	藪口 貴啓
5-50	生駒市東生駒配水池ドーム改修工事—RC 製ドーム屋根の不断水ドーム改修工法—	
	三井住友建設	鶴田 哲也
5-51	長円形単槽 PC とステンレスドーム屋根との併用構造による配水池の築造	
	森松工業	青木 大祐

第 2 会場

計画部門（環境対策(3)）		
13:00～13:45（計 3 題）		
2-28	川井浄水場小水力発電設備の導入検討	
	横浜市水道局	小林 正史
2-29	奈良県桜井浄水場における小水力発電設備の導入	
	奈良県水道局	和田 正豊
2-30	新潟市の配水管布設工事における CO ₂ 削減の一考察	
	新潟市水道局	石高 靖弘

計画部門（その他）		
13:50～15:20（計 6 題）		
2-31	大阪市における次世代型浄水システムの構築に向けた技術開発の取組み—最適先端処理技術実験施設の稼働—	
	大阪市水道局	小松 良光
2-32	おいしい水づくりにかかるお客様と協働した取組み	
	千葉県水道局	本田 恵理
2-33	小学校における水道水飲用と水筒持参傾向への影響因子の調査	
	東京都市大学	長岡 裕
2-34	要因別分析手法を用いた生活用原単位推計の検証	
	札幌市水道局	眞宮 守
2-35	公募型プロポーザルによる浄水場運転監視業務の受託者選定事例報告	
	新潟市水道局	佐藤 孝行
2-36	発展途上国へのハイブリット給水システム導入可能性調査	
	立命館大学	山田 淳

第 3 会場

導・送・配水部門（管路更新(6)）		
13:00～14:00（計 4 題）		
5-24	NS 形ダクタイル鉄管による橋梁添架管の施工	
	新潟市水道局	杉山 洋介
5-25	シールド工の曲線施工による到達	
	東京都水道局	関口 育男
5-26	白幡配水幹線曲線推進工事の設計と施工事例	
	さいたま市水道局	関根 信成
5-27	既設ずい道内送水管布設工事における US 形ダクタイル鋳鉄管（LS 方式）の施工	
	横須賀市上下水道局	武田 博之

導・送・配水部門（管網管理）		
14:05～15:20（計 5 題）		
5-28	濁水解消に向けた取り組み	
	高知市水道局	北村 優太
5-29	水理解析モデルによる配水管路の効果的な洗浄方法の検討（Ⅰ）	
	東京水道サービス	住谷 宏次
5-30	数値流体解析を用いた管路分岐部形状の差異に伴う濁質分配傾向の検討	
	栗本鐵工所	岸本 圭司
5-31	電磁誘導法を用いた水道管の連続埋設位置探査システムの開発と適用事例	
	NTT インフラネット	福田 和弘
5-32	GIS を用いた管路情報システムの構築	
	福岡地区水道企業団	下川 明

導・送・配水部門（管内水質(1)）		
15:25～16:10（計 3 題）		
5-33	自動水質測定装置の導入に向けた取り組み	
	さいたま市水道局	梅沢 朋宏
5-34	神奈川県営水道における自動水質測定装置による水質監視体制の構築	
	神奈川県企業庁	川口 真人
5-35	配水管網における実測調査に基づいた残留塩素濃度モデルの検討	
	首都大学東京	丸山 拓也

導・送・配水部門（管内水質(2)）		
16:15～17:00（計 3 題）		
5-36	送配水施設における微生物的水質保持に関する一考察	
	日水コン	中田 章雅
5-37	配水区域における滞留時間分布からみた水質管理地点の評価に関する一考察	
	首都大学東京	和田 賢太郎
5-38	フィルターろ過と XRF 及び FT-IR 分析を用いた老朽管路内の水質挙動に関する調査	
	東京都市大学	小佐野 洋樹

第 4 会場

浄水部門（高度処理 ⁽¹⁾ ）	
13:00～14:00（計 4 題）	
4-28	霞ヶ浦を水源とする浄水場における浄水処理手法の改善に係る共同研究（Ⅰ） ―産学官連携による共同研究の取り組み― 茨城県企業局 伊藤 睦雄
4-29	霞ヶ浦を水源とする浄水場における浄水処理手法の改善に係る共同研究（Ⅱ） ―帯磁性イオン交換樹脂処理システムによる溶解性有機物除去― 前澤工業 太田 直輝
4-30	霞ヶ浦を水源とする浄水場における浄水処理手法の改善に係る共同研究（Ⅲ） ―高効率な固液分離装置としての高速加圧浮上装置の処理性能確認― オルガノ 國東 俊明
4-31	霞ヶ浦を水源とする浄水場における浄水処理手法の改善に係る共同研究（Ⅳ） ―ポリシリカ鉄を用いた強化凝集による溶解性有機物の処理性改善― ヤマト 川端 洋之進

浄水部門（高度処理 ⁽²⁾ ）	
14:05～15:05（計 4 題）	
4-32	水処理実験設備を用いたオゾン＋活性炭処理でのホルムアルデヒドの挙動 埼玉県企業局 吉本 泰士
4-33	水処理実験設備における同化性有機炭素の挙動 埼玉県企業局 三木 充
4-34	水道事業における高度浄水処理の導入実態及び導入検討のポイント 水道技術研究センター 稲田 吉一
4-35	唐津市における高度浄水処理の評価 佐賀大学 原田 浩幸

浄水部門（凝集・沈澱 ⁽¹⁾ ）	
15:10～16:25（計 5 題）	
4-36	集塊化開始時間測定法による凝集剤注入率制御のための基礎調査 関東学院大学 多田 隆二
4-37	凝集剤注入制御のためのアルミニウム連続計測に基づく制御ロジックの構築 日立製作所 三宮 豊
4-38	原水高 pH 時における二段凝集処理の薬注制御とその評価 新潟市水道局 唐沢 良紀
4-39	流動電流計と凝集反応の自動制御 特別会員 山崎 満佳
4-40	伝達関数 ARIMA モデルを用いた浄水処理水質のモデル化に関する一考察 首都大学東京 橘田 一貴

第 5 会場

給水装置部門（給水管・IT・調査）	
13:00～14:15（計 5 題）	
6-12	水道用ポリエチレン二層管金属継手の引抜阻止力の向上 キッツ 飯島 陽一
6-13	集合住宅の計画使用水量算定方法に関する調査研究 東京都水道局 余川 欣也
6-14	モバイル型検針の導入に向けた調査研究 東京都水道局 村上 仁
6-15	検針業務を活用した漏水調査業務の効率化 長野県企業局 橋部 太一
6-16	給水装置情報管理システムの運用 千葉県水道局 宮川 雅一

機械・電気・計装部門（設備更新）	
14:20～15:05（計 3 題）	
7-1	札幌市白川浄水場における制御用計算機更新事例 ―止められない基幹浄水場の計算機更新― 札幌市水道局 諏訪 英司
7-2	阪神水道企業団における送配水監視制御システムの更新（Ⅱ） 阪神水道企業団 河本 祐一
7-3	監視制御設備更新における信頼性確保対策の事例報告 新潟市水道局 山岸 広信

機械・電気・計装部門（調査・開発）	
15:10～16:10（計 4 題）	
7-4	監視制御システムの段階的部分更新手法 横河電機 牛田 友二
7-5	異なる監視制御システム間の 2 重化接続の評価 横河電機 川出 慎士
7-6	施設の運転管理の統合における計装設備・監視制御システム標準仕様の策定 松江市水道局 中倉 隆
7-7	水道施設における監視制御・情報管理システムのオープン化に関する調査 ―分析結果考察と今後の展望― 東芝 中川 浩一

第 6 会場

水質部門（試験方法 ⁽¹⁾ ）	
13:00～14:00（計 4 題）	
8-25	直接大容量導入 HPLC 法を用いたジクワットの定量 ―固相抽出による濃縮操作省略の試み― 横浜市衛生研究所 吉川 循江
8-26	ミネラルウォーターのホルムアルデヒド測定におけるブランク水としての妥当性の検証 仙台市水道局 大沼 国彦
8-27	カビ臭分析における内部標準物質の検討 岩手県薬剤師会 工藤 清穂
8-28	IC/MS/MS 法によるハロ酢酸類・オキソハロゲン酸の一斉分析の検討 千葉県薬剤師会検査センター 朝日 健介

水質部門（試験方法 ⁽²⁾ ）	
14:05～15:05（計 4 題）	
8-29	LC/MS 法によるイミノクタジン酢酸塩及びジクワットの同時測定法の検討 山梨県食品衛生協会 中澤 智子
8-30	固相抽出―誘導体化―GC/MS 法による EDTA の測定法の検討 国立医薬品食品衛生研究所 久保田 領志
8-31	塩化ビニルモノマーの標準調製方法、試料採取 ジーエルサイエンス 井口 えい子
8-32	クリプトスボリジウム自動測定装置開発のための蛍光抗体標識法の基礎検討 メタウォーター 金 京柱

水質部門（微生物・原虫類）	
15:10～16:10（計 4 題）	
8-33	リアルタイム PCR 法による <i>Cryptosporidium</i> の測定方法の確立と応用 大阪市水道局 武田 万里子
8-34	水源における病原微生物濃度の予測に関する基礎的検討 国立保健医療科学院 岸田 直裕
8-35	福増浄水場における浄水処理工程での従属栄養細菌の変動 千葉県水道局 宮崎 啓彰
8-36	浄水処理過程および配水過程における従属栄養細菌の挙動 東京都水道局 岩本 智江

水質部門（高度処理関係他）	
16:15～17:30（計 5 題）	
8-37	高度浄水処理（オゾン BAC）におけるビコプラクトンの処理性 千葉県水道局 関 哲雄
8-38	水道水分離バイオフィーム形成菌株に対する金属銅の殺菌特性 北里環境科学センター 小澤 智子
8-39	信濃川浄水場生物活性炭の経年変化と更新に関する考察 新潟市水道局 堀川 亘
8-40	A 型インフルエンザウイルスに対する塩素、モノクロアミンおよび紫外線消毒の有効性 東京大学大学院 北島 正章
8-41	東京都水道局三園浄水場における高度浄水処理実態調査 東京都水道局 田部井 洋明

第 7 会場

リスク管理・災害対策部門（危機管理 ⁽¹⁾ ）	
13:00～14:00（計 4 題）	
9-9	導水管漏水事故（Ⅰ） ―概要及び復旧工事― 八戸圏域水道企業団 遠藤 邦宏
9-10	導水管漏水事故（Ⅱ） ―溶接継手部の開先形状異常― 八戸圏域水道企業団 内宮 靖隆
9-11	導水管漏水事故（Ⅲ） ―溶接不良― 八戸圏域水道企業団 青田 睦夫
9-12	導水管漏水事故（Ⅳ） ―配水システムの検討― 八戸圏域水道企業団 高坂 亮

リスク管理・災害対策部門（危機管理 ⁽²⁾ ）	
14:05～15:20（計 5 題）	
9-13	新型インフルエンザ（A/H1N1）への対応に関する実態調査 日本水道協会 梨木 克修
9-14	気候変動が水道システムに与える影響に関する文献調査 国立保健医療科学院 中村 怜奈
9-15	宮城県企業局における危機管理対策への取り組み ―安否確認システムの開発及び運用― 宮城県企業局 千葉 隆史
9-16	渴水レベルを評価する方法の検討 沖縄県企業局 伊佐 智明
9-17	神戸市水道局における水質汚染事故に対する取り組み（Ⅱ） 神戸水道局 岡 直弘

研究発表の日程　— 5月21日(金)午前—

第1会場

導・送・配水部門（その他 ⁽¹⁾ ）		
9:00～10:00（計4題）		
5-52	揚水ポンプ使用電力量の削減 —ポンプ井水位の設定—	
	横浜市水道局	小幡 雄司
5-53	夾雑物移送技術（パラシュート）の開発	
	東京都水道局	岡田 吉人
5-54	経済的な地盤の良し悪しマップ作成に関する研究	
	栗本鐵工所	畑中 哲夫
5-55	水道工事標準仕様書の改訂	
	日本水道協会	高橋 修一

導・送・配水部門（その他 ⁽²⁾ ）		
10:05～10:50（計3題）		
5-56	伸縮機能を持った小口径仕切弁の性能評価	
	前澤工業	大淵 重裕
5-57	配管材料の直費購入制度採用によるコスト削減	
	横浜市水道局	中井 一雄
5-58	小口径新耐震ソフトシール仕切弁の性能評価	
	クボタ	中尾 正範

第2会場

水源・取水部門（水源施設整備）		
9:00～9:45（計3題）		
3-1	深井戸の更新・改良に伴う水質改善への取り組み	
	さいたま市水道局	水村 周一
3-2	村山下貯水池堤体強化工事における水質に配慮した試験湛水及び周辺整備	
	東京都水道局	丸山 伸孝
3-3	サクラ景観の保全・再生に向けて	
	東京都水道局	秋山 勇介

水源・取水部門（水源水質・保全 ⁽¹⁾ ）		
9:50～10:50（計4題）		
3-4	小河内貯水池の河川流入部における底質の特性	
	首都大学東京	早川 友康
3-5	小河内貯水池における地形効果が流動に及ぼす影響	
	首都大学東京	小林 真之
3-6	小河内貯水池における濁水浸入流の挙動	
	首都大学東京大学院	新山 雅紀
3-7	小河内貯水池流入河川における窒素・リンの流出特性	
	首都大学東京大学院	菊池 彩子

水源・取水部門（水源水質・保全 ⁽²⁾ ）		
10:55～11:40（計3題）		
3-8	相模川下流域における農薬類の調査（Ⅱ）	
	神奈川県企業庁	萱沼 康夫
3-9	水質浄化を目的とした植物適用の比較検討 実験に関する一考察	
	首都大学東京	柳井 信一
3-10	貯水池の中層域に限定した水質改善対策	
	神戸市水道局	森岡 速視

第3会場

リスク管理・災害対策部門（災害対策(施工)）		
9:00～10:15（計5題）		
9-18	ヒヤリ・ハット調査を用いた配水管工事現場における危険要因の分析	
	横浜市水道局	森 亮
9-19	簡易的耐震性能分類を用いた水管橋等の耐震化促進への取組み	
	さいたま市水道局	村山 真紀
9-20	堺市上下水道局庁舎耐震性貯水槽	
	堺市上下水道局	奥川 正之
9-21	大規模地震に対する調整池の耐震性能照査事例及び検討手法の提案	
	水資源機構	岡本 大樹
9-22	常時微動測定による地盤特性の評価と水道施設への適用事例	
	日本上下水道設計	馬場 啓輔

リスク管理・災害対策部門（災害対策(設計解析)）		
10:20～11:20（計4題）		
9-23	断層横過用パイプの開発	
	JFEエンジニアリング	長谷川 延広
9-24	既設沈澱池の液状化対策案に関する考察	
	日本水道協会	佐藤 喜一郎
9-25	液状化地盤にある浄水処理施設の耐震補強設計法	
	大阪市水道局	吉澤 源太郎
9-26	減量通水状態における水路トンネル調査及び補修技術	
	水資源機構	桜井 剣

第 4 会場

浄水部門（凝集・沈澱(2)）		
9:00～10:15（計 5 題）		
4-41	凝集沈澱処理によるウイルスの除去と不活化	
	北海道大学大学院	白崎 伸隆
4-42	傾斜板沈降装置を有する沈澱池の汚泥堆積に伴う濁度分布の特性	
	津山市水道局	角南 孝典
4-43	炭酸ガス注入による pH 調整での効果	
	鹿児島市水道局	菊水 利和
4-44	電気伝導率を指標とした浄水処理の試み	
	札幌市水道局	北野 晶子
4-45	凝集剤注入制御のためのアルミニウム連続計測方式の開発	
	日立製作所	芳賀 鉄郎

浄水部門（凝集・沈澱(3)）		
10:20～11:20（計 4 題）		
4-46	浄水用生分解性高分子凝集剤の開発	
	広島大学	奥田 哲士
4-47	高塩基度 PAC1 を用いた凝集処理後の残留アルミニウム濃度とその温度影響	
	北海道大学	石川 太了
4-48	ダム水を原水とする浄水施設への PSI 適用	
	水道機工	亀田 修平
4-49	藻類生産有機物の凝集促進効果の検討	
	東北工業大学	斎藤 孝市

第 5 会場

機械・電気・計装部門（統合・広域）		
9:00～9:45（計 3 題）		
7-8	水道施設の統合監視システム構築事業—合併に伴う設備監視統合のシステム構築と運転管理業務における活用事例—	
	明電舎	片岡 茂保
7-9	遠隔監視システム整備におけるネットワーク構築	
	下関市上下水道局	向野 邦彦
7-10	遠隔監視システム整備に向けてのソフトウェア構築	
	下関市上下水道局	吉富 政博

機械・電気・計装部門（その他）		
9:50～10:50（計 4 題）		
7-11	フォールトトレラントデザインによる柴島浄水場受変電システム更新	
	大阪市水道局	竹内 弘二
7-12	浄化薬品漏液検知機能の構築	
	阪神水道企業団	川内 博之
7-13	塩素注入用流量センサー開発の一考察	
	愛知時計電機	柴垣 秀明
7-14	次亜塩素酸ナトリウム冷却装置の検討	
	磯村豊水機工	岡本 洋三

第 6 会場

水質部門（アルミニウム関係他）		
9:00～10:00（計 4 題）		
8-42	浄水場におけるアルミニウムの管理方法	
	神奈川県内広域水道企業団	岩見 吉博
8-43	名護浄水場における浄水アルミニウム濃度低減調査	
	沖縄県企業局	平良 和代
8-44	陰電荷膜法によるウイルス回収に及ぼす過水量の影響	
	麻布大学	平田 強
8-45	浄水処理過程におけるアルミニウムの挙動調査	
	京都市上下水道局	藤原 俊一郎

水質部門（その他）		
10:05～11:05（計 4 題）		
8-46	広島市水道局における次亜塩素酸ナトリウム管理手法の検討	
	広島市水道局	高尾 健一郎
8-47	緩速ろ過における溶存酸素濃度の変化	
	北九州市水道局	木村 尚志
8-48	水道水源等における動物用医薬品類の検出実態と処理性	
	川崎市水道局	眞鍋 晋
8-49	塩素酸低減に向けた次亜塩素酸ナトリウム注入設備の見直し	
	さいたま市水道局	郷戸 克昌

当会場の研究発表はなし

部門別発表数

事務22、計画36、水源・取水10、浄水63、導・送・配水58、給水装置16、機械・電気・計装14、水質49、リスク管理・災害対策26、英語12、計306

※発表論文のタイトルおよび発表者とその所属は 3 月31日現在のものです。

発表者各位へ

- (1) 発表するセッションの開始 1 時間前（午前最初のセッションは30分前）までに該当発表部門の会場受付へお越し下さい。
- (2) 研究発表時間は 1 人12分間で質疑応答時間は 3 分間です。
- (3) 研究発表終了後も質疑応答が終了するまで必ず発表者席で待機して下さい。
- (4) 発表者の欠席などにより発表時間が繰り上がることがあります。
- (5) 欠席する場合は必ず前もってご連絡下さい。登壇者の変更は共同執筆者に限りません。

会場及び宿泊施設案内図

朱鷺メッセへの交通アクセス

■ JR新潟駅から

- 路線バス：万代口バスターミナル5番線より「朱鷺メッセ」経由佐渡汽船行」に乗り、「朱鷺メッセ」バス停下車すぐ。約15分
- タクシー：万代口から約5分
- 徒歩：万代口から約20分

■ 万代地区から

- 路線バス：万代シティバスセンター6番線より、「朱鷺メッセ」経由佐渡汽船行」に乗り、「朱鷺メッセ」バス停下車すぐ。約10分
- タクシー：約5分
- 徒歩：約10分

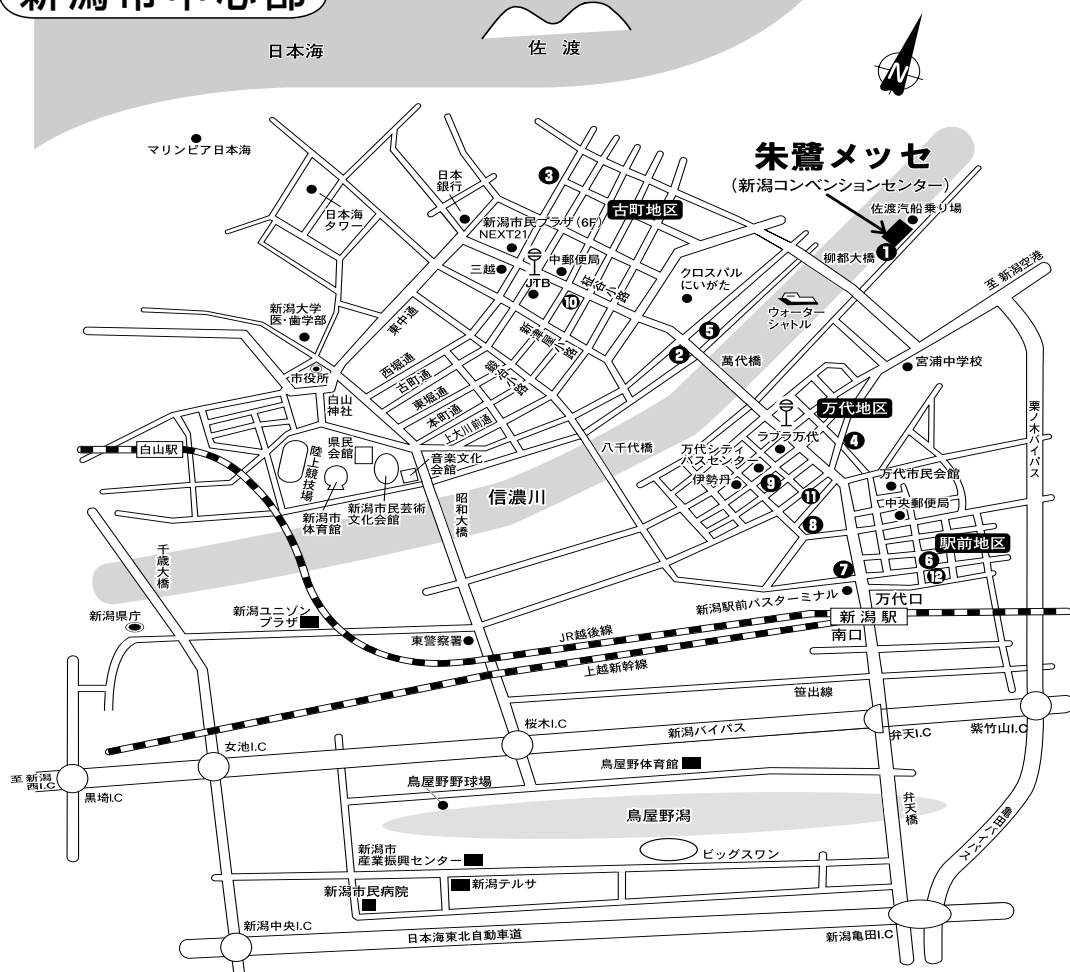
■ 古町地区から

- 路線バス：古町バス停から、「新潟駅行」に乗り、「万代シティバスセンター」バス停で下車、徒歩にて、職業安定所前12番バス停から、「朱鷺メッセ」経由佐渡汽船行」に乗り、「朱鷺メッセ」バス停下車すぐ。約20分
- タクシー：約10分

■ 新潟空港から

- 路線バス：JR新潟駅南（直行バス／約25分）――構内自由通路／徒歩――JR新潟駅万代口バスターミナル5番線（朱鷺メッセ経由佐渡汽船行／約15分）※「新潟空港→（各停）→新潟駅前」路線バス（所要：約30分）の運行もごさいます。
- タクシー：約20分

新潟市中心部



<主なホテル>

- | | |
|---------------------|---------------|
| ① ホテル日航新潟 | ⑦ 新潟東急イン |
| ② ホテルオークラ新潟 | ⑧ 新潟東映ホテル |
| ③ ホテルイタリア軒 | ⑨ 万代シルバーホテル |
| ④ A N Aクラウンプラザホテル新潟 | ⑩ ホテルディアモント新潟 |
| ⑤ 新潟グランドホテル | ⑪ コートホテル新潟 |
| ⑥ ホテルサンルート新潟 | ⑫ ホテルレオパレス新潟 |